おくらっこくらぶのつぶやき「ASD（自閉スペクトラム症）について」

第40回

療育目的で通う放課後等デイサービスを運営している八木佐織さんに今回は「ASD（自閉スペクトラム症）について教えてもらいました。

今回も、ASD（自閉スペクトラム症）についてです。37回でもお伝えしたように、自閉スペクトラム症の国際疾病分類が大きく変わり、対人的相互交渉が苦手あるいはできないと言う部分がはずれました。

関わり方により、サインやカードで意思表示が可能ですし、意欲をもって取り組み、終わりも自分のタイミングで行うことが可能です。周りの人の動きを見て、自ら動くことができます。自立心の芽生えの時期に自ら動けるように環境を整えることで、交渉をしたり感情をコントロールできるようになります。

そのタイミングや方法がうまく機能しなかった時には、二次障がいとして強度行動障害が出現することがあります。おくらっこくらぶが得意とする強度行動障害対応について次回は書きます。

この度のクラウドファンディングへの挑戦はあと70万円というところで目標ならずでした。私達の夢の実現のために、引き続きご寄付をお願い申し上げます。事業所にご連絡を頂けましたら、振込先などお伝えいたします。クラファンに150名の皆様よりご支援を賜りましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

おくらっこくらぶ
一般社団法人 きざはし
☎0898-52-8106
今治市近見町2丁目1番61号
毎月連載しているおくらっこくらぶのつぶやきのご意見、ご感想お待ちしています。先生方が質問に答えますよ♪

地域に愛される病院へ 三木病院の整形外科

「成長期の子どものストレッチ」について

今回は三木病院の院長三木冬人先生に「成長期の子どものストレッチ」について聞きました。

三木冬人院長

マイタウン（以下マ）：新年度が始まって、部活動も本格的になりますね。特に気をつけたほうがいいことはありますか？

三木先生（以下三）：そうですね。まずは〝ストレッチ〟をしっかり行うことが大切です。これはケガの予防につながりますし、日々のコンディション維持にも役立ちます。

マ：ストレッチがやっぱり大事なんですね。

三：はい。成長期の子どもは、まず骨がグッと伸びていきます。その一方で、筋肉はすぐには一緒に伸びてくれないんですね。だから筋肉が硬くなりやすくて、運動するときにストレスがかかりやすいんです。

マ：筋肉が骨の成長に追いつかないということですね。

三：そうなんです。特に運動量の多い子どもたちには、しっかりストレッチをして筋肉を柔らかく保つことがとても大事です。そうすることで、筋肉や関節にかかる負担を減らし、痛みやケガの予防にもなります。

マ：どのあたりを重点的にストレッチすると良いですか？

三：太ももや腰まわりですね。運動の前後に時間をとって、丁寧にストレッチしてほしいです。

マ：すでに痛みが出ている場合はどうすればいいですか？

三：痛みがあるときは、まず無理をしないこと。そして、痛みのある場所を15分程度アイシング（冷やすこと）すると、炎症を抑えることができます。

マ：小・中・高校生など、部活を活発にしている世代には特に重要ですね。

三：はい、毎日少しずつでもストレッチを続けていくことで、筋肉は徐々に柔らかくなっていきます。当院は土曜の午後もやっていますので、気になることがあれば遠慮なく相談ください。

医療法人 天楽会 三木病院
今治市泉川町１丁目3-45
看護師随時募集中！
☎0898-32-4680
http://tenrakukai-hp.com/

4年ぶりの快進撃

今治中央ボーイズ

粘り強さで全国ベスト16

▲全国の舞台で活躍した中央ボーイズメンバーら

今治で活動する中学野球チーム今治中央ボーイズが、先ごろ中学野球の甲子園「第55回スターゼンカップ全国大会」に4年ぶりに出場し、ベスト16入りを果たしました。

今治だけでなく、新居浜市など遠方から通う選手も在籍。体格では劣っていても、守るべき場面で守り、流れをつかむと一気に攻める勝負強さがチームの持ち味。青野純樹監督（38）は「まとまりがあり、相手に嫌がられるチーム」と話します。

全国の舞台でも粘り強さを発揮し、ベスト16に進出。3回戦では7対4で惜しくも敗れましたが、諦めずに食らいつく姿勢が光りました。

キャプテンの藤岡慎太朗さん（角野中3・14）は「全国の相手に体格差を強く感じました。今後も大会でいい成績を収めたい」と話しています。

パチパチアバカススクール

越智くん四国大会準V

毎日10時間の努力で成果

▲四国大会で準優勝した越智くん

そろばんの技術を競う「四国そろばん88カップ2025」が先ごろ行われ「パチパチアバカススクール」に所属する越智優希くん（立花小3年・8）が、個人総合競技・2年生以下の部で準優勝しました。また、同教室の相原怜奈さん（富田小2年・8）も8位に輝きました。

大会には四国4県から約170人が参加。計算の正確さとスピードを競いました。

優希くんは年長時に入塾し、大会前は1日10時間以上、練習に励みました。優希くんは「将来はそろばんの先生になりたい」と話しています。